

◆オタリテック：最先端 & IP ネイティブのモジュール型ミキシングコンソール LAWO 「diamond」

映像、音声および IP ネットワークのシステムソリューションを提供するオタリテック株式会社（東京都新宿区 代表取締役社長 細田久）は、放送プロダクション IP 化の革新者として世界の最先端を走り続けるドイツ LAWO 社の TV/ ラジオ向け最先端 & IP ネイティブのモジュール型ミキシングコンソール、「diamond」をリリース。



製品名：LAWO diamond

価格：オープンプライス

製品ページ：<https://otaritec.co.jp/product/diamond/>

高解像度画像：<https://bit.ly/32YKCyB>

POWERFUL. ELEGANT. INSPIRING.

Lawo の設計哲学はシンプル。直感的に使えるミキシングコンソールをブロードキャストのプロフェッショナルに提供すること。

diamond はフィジカルオペレーションとバーチャルオペレーションのシームレスかつ自然な操作環境を可能にする。

diamond は IP ネイティブなミキシングコンソール。完全にモジュール化されたパネルは、ユーザーのご要望に応じてレイアウトすることが可能。フィジカルフェーダーは 2 本から最大 60 本まで拡張可能。各パラメーター情報を瞬時に提供するバーチャルエクステンション（オプション）が用意され、コンソールサーフェイスには高精細なフルカラーディスプレイと、mc2 シリーズと同じ高品位なモーターフェーダーとロータリーコントロールを備えている。diamond はこのように高いパワーを、放送局が Lawo のブロードキャストコンソールに期待するスタイリッシュで洗練されたデザインで実現。ニュースサブ/OTC のテレビアプリケーションからラジオシステムまで幅広く対応する。

OVERVIEW

- 2 本から 60 本まで拡張可能なフィジカルフェーダー
- 100% モジュラー型・100%IP で最大限の柔軟性を実現
- コンテキスト・カラーディスプレイ搭載
- タッチセンサーによる操作
- ユーザー管理・権限管理可能なマネージメントシステム
- バーチャルフェーダーを含めて最大 120 本のフェーダーコントロールを実現
- バーチャル・エクステンション・タッチスクリーンコントロールモジュール（オプション）
- Power Core エンジンには複数のライセンスオプションを提供
- RAVENNA/AES67 および ST21 10-30 とのネイティブな互換性

LAWO <https://lawo.com>

フランクフルトから南に約 150km、ヨーロッパ屈指の温泉保養地バーデン・バーデンにほど近い南ドイツの都市ラシュタットで 1970 年に創業した LAWO は放送局、劇場、商業施設や一般企業向けの先駆的な映像、音声、制御そして監視技術のテクノロジーを開発し、すべての製品を本社において最高の品質基準で製造。創業 51 年を迎えた長い歴史を持つ企業でありながら、放送制作 IP 化の革新者として世界の最先端を走り続けています。

オタリテック株式会社 <https://otaritec.co.jp>

1980 年に事業スタートして以来、オタリ株式会社の光伝送システム「Lightwinder」をはじめ、世界各国から厳選したプロフェッショナル用音響機器を日本の放送局、中継車、レコーディングスタジオ、ポストプロダクション、ホール設備、ライブハウス、SR へお届けして参りました。2020 年春には IP 新時代を迎えるべく映像システムソリューション部を始動。40 年間「現場第一主義」でお客さまとともに歩んできた経験と技術力をベースに映像・音声・ネットワーク（IP 制御・IP 監視）のソリューションをトータルでご提供することが可能になりました。スタンドアロンシステムからパッケージシステムまで、ニーズに沿った最適なお提案をいたします。

※製品の仕様・性能、外観、価格、発売日等は予告なく変更となる場合があります。
※記載されているメーカー名、ブランド名、商品名等は各社の商標または登録商標です。

問い合わせ先

オタリテック株式会社 営業部 マーケティング 渡邊浩二、原澤美穂
pr@otaritec.co.jp

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田 3-30-16

TEL 03-6457-6021 FAX 03-5285-5281

<https://otaritec.co.jp>

◆キャノン MJ グループ：「キャノン MJ グループ環境ビジョン 2050」および「キャノン MJ グループ 2030 年中期環境目標」策定について

キャノンマーケティングジャパン株式会社（代表取締役社長：足立正親）、以下キャノン MJ は、キャノングループが掲げる企業理

念「共生」のもと、サステナビリティ経営を推進しています。このたび、持続可能な社会の実現に向け、「キャノン MJ グループ環境ビジョン 2050」および中間目標である「キャノン MJ グループ 2030 年中期環境目標」を策定しました。



近年、気候変動対策について、パリ協定の採択をはじめ世界では脱炭素への動きが加速しています。

国内においても政府の 2050 年カーボンニュートラルに関する宣言や CO² 排出削減目標の見直しなど、カーボンニュートラルに向けた取り組みが進んでいます。資源循環においてもプラスチック問題が世界的な環境課題となり、また生物多様性への関心心が一層高まるなど、グローバル社会において企業は「気候変動対応」、「資源循環」、「生物多様性保全」といった地球環境に配慮した経営が求められています。

そのような社会的要請を受け、このたび 2050 年にに向けた「キャノン MJ グループ環境ビジョン 2050」を策定し、3 つの目標として①カーボンニュートラルの実現、② 資源循環社会の実現への貢献、③生物多様性保全と汚染防止への貢献、を掲げました。あわせて、その中間目標である「キャノン MJ グループ 2030 年中期環境目標」を定めました。

今後は、TCFD の提言に基づき、気候変動が事業に与えるリスク・機会に関して、戦略・リスク管理・ガバナンスなどの観点で分析を深め、コーポレート・ガバナンス報告書および統合報告書において、積極的に情報開示を進めていきます。



キャノン MJ グループは、自社の環境負荷低減のみならず、製品や IT ソリューションによる総合的なサービスの提供を通じて、お客さまの CO² 排出削減など、社会・お客さまの環境課題の解決にも取り組んでまいります。

2030 年中期環境目標		
①カーボンニュートラルの実現	②資源循環社会の実現への貢献	③生物多様性保全と汚染防止への貢献
<ul style="list-style-type: none"> ・自 社 CO² 38% 削減 (2021 年比) ※1※2 ・事業を通じたお客さまの CO² 削減貢献 	<ul style="list-style-type: none"> ・製品廃棄物ゼロエミッション※3 ・プラスチック廃棄物の削減 ・水の効率的利用による使用量削減 ・水リスク分析と情報開示 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会貢献活動の刷新 ・グリーン調達による有害物排除

- ※ 1 「環境省グリーン・バリューチェーンプラットフォーム」が提供する「SBT 削減目標算定ツール」を用いて算定。
- ※ 2 自社 CO² とは、Scope1、Scope2 の GHG 排出量の合計値を指す。
- ※ 3 再資源化率=再資源化量（市場から回収し処理をした製品の総数から、単純焼却、埋立処理を除いた総重量）÷市場から回収し処理をした製品の総量。
- ※ 4 TCFD とは、G20 の要請を受け、金融安定理事会により設立された「気候関連財務情報開示タスクフォース（Task Force on Climate-related Financial Disclosures）」を指す。TCFD は 2017 年 6 月に最終報告書を公表し、企業などに対し、気候変動関連リスク、及び機会に関する項目について開示することを推奨。TCFD ウェブサイト <https://www.fsb-tcfid.org/>
- ※ 5 <https://canon.jp/corporate/csr/environment/tcfd>

また、キャノン MJ は、「キャノン MJ グループ環境ビジョン 2050」および「キャノン MJ グループ 2030 年中期環境目標」に向けた取り組みの実効性をめるために、「気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）※4」の提言への賛同を表明し、「気候関連リスクと機会」を開示※5しました。

- ニュースリリースホームページ canon.jp/newsrelease
- キャノン MJ グループ環境ビジョン 2050 ホームページ canon.jp/corporate/csr/environment/vision

◆パナソニック：AI搭載 Vieceura カメラに Amazon Kinesis Video Streams に対応する新機能を搭載。



KVS 対応機能の構成

パナソニック株式会社は、AI を搭載した Vieceura カメラ VRK-C301 でアマゾン ウェブ サービス (以下、AWS) の Amazon Kinesis Video Streams (以下、KVS) を新機能としてサポート。この KVS 対応機能により、カメラ映像を AWS へ簡単かつ安全にストリーミングし、保存できるようになる。保存された映像データは AWS の他のサービスからの利用ができるようになり、特にディープラーニングに効果的な学習環境の構築が可能になる。

今後も、より簡単かつ安全な画像解析の環境をご提供できるよう Vieceura プラットフォームのアップデートを行う。

● KVS 対応機能のメリット

一般的に、ディープラーニングの学習用映像データの収集作業は手間がかかる。カメラ内の SD カードや、現地に設置された映像レコーダーなどに記録した上で、それを持ち帰る必要がある。加えて、その映像データを用いてクラウド上で学習を行う際には、クラウドにアップロードする手間も必要となる。

今回、Vieceura に新しく搭載した KVS 対応機能により、カメラから直接クラウドに映像データがストリーミング・保存*されるため、これまで学習用映像データの収集にかかっていた手間が一気に省け、利用者はディープラーニングを用いた機械学習モデルの構築・精度向上に集中できるようになる。

また、複数台のカメラの映像も簡単に取得できるため、多様な映像を利用した学習も容易になり、モデルの精度向上にかかる時間短縮も見込める。さらに、KVS に保存された映像は、AWS の他のサービスからも簡単に利用でき、様々な用途にも活用が可能になる。

● KVS 対応機能の特徴

- ・カメラの映像データを安全に AWS クラウドに送信
 - 暗号化された通信を用いて、映像を送信
- ・簡単な設定で、KVS の設定・操作が可能
 - カメラのメニューに、KVS 専用の設定・操作 UI を用意
 - UI 上で、AWS で発行された情報を設定することで、KVS の利用が可能
- ・リモートから (カメラ設置現場以外から) も KVS の設定・操作が可能
 - Vieceura Manager に接続されたカメラであれば、Vieceura Manager を通して、KVS の設定・操作が可能
- ・最小限の手間で、映像の蓄積管理を実現
 - KVS は、マネージドサービスとして提供されているため、サーバの運用・保守が不要

[AWS および Vieceura パートナーからのコメント]

・アマゾン ウェブ サービス ジャパン合同会社

小林正人 技術統括本部 技術推進本部本部長

AI/ 機械学習の領域においては、学習用データの収集に手間がかかることが一般的な課題のひとつとなっています。今回の新機能により、Vieceura カメラの映像データを Amazon Web Services (AWS) 環境に少ない手順で転送可能になり、AWS が提供する AI/ 機械学習をはじめとする各種サービスを活用したビジネス価値の創出が容易になると確信しています。Vieceura プラットフォームにより、より多

くのお客様に AI/ 機械学習のテクノロジーを活用頂けるようになることを期待しています。

・ビーコア株式会社 水野廉郎 代表取締役

ビーコア株式会社も多くの AWS サービスを利用していますが、Vieceura が AWS の KVS に対応することで既存のサービスに幅を持たせることができると期待しています。新サービスを上手に使い、世にない新たなソリューションを生み出していただくと、今から胸躍らせています。

・ブレインズテクノロジー株式会社 榎並利晃 CPO/ 取締役

ブレインズテクノロジーは、AI/ 機械学習を利用した異常検知ソリューション「Impulse」を展開しております。製造業や建設業では、様々な異常検知課題があり、取り扱うデータも時系列データから動画まで多様化しております。昨今、動画を使った異常検知のニーズが高まり、設備だけでなく人の作業も分析対象になるなかで、Vieceura を利用させていただいておりました。今回の新機能は、より簡単に動画を収集することができ、より早く AI 分析ができるものになるため、すぐに始めたいお客様向けのソリューションとして非常に期待しております。

* 映像データのプライバシー保護については、ご利用者の判断により運用される。KVS 機能は Vieceura カメラにてサポートしており、当社が提供している来客分析サービスでは提供しておりません。(2022 年 1 月 24 日時点)

【Vieceura に関する問合せ先】

info_vieceura@ml.jp.panasonic.com

【Vieceura プラットフォームとは】 AI 処理可能な Vieceura カメラと、カメラ上で実行される AI ベースのアプリケーションを遠隔から個別アップデート・管理可能なクラウドベースのマネージメントソフト、アプリケーションを開発するためのソフトウェア開発環境で構成される。

【Amazon Kinesis Video Streams とは】 接続デバイスから、AWS へ動画を簡単かつ安全にストリーミングすることを可能とするサービスです。動画のストリーミングデータの取り込みに必要なインフラストラクチャを自動的にプロビジョニングし、ストリーム内のメディアを耐久性に優れた形で保存、暗号化、インデックス化し、使い勝手のよい API を介したデータへのアクセスも可能にします。

関連情報:

- ・ AI 搭載 Vieceura カメラに Amazon Kinesis Video Streams に対応する新機能を搭載 [PDF:148.1KB]
<https://news.panasonic.com/jp/press/data/2022/01/jn220124-1/jn220124-1.pdf>
- ・ Amazon Kinesis Video Streams
<https://aws.amazon.com/jp/kinesis/video-streams/>
- ・ Vieceura ホームページ
<https://tech.panasonic.com/jp/bi/vieceura/>
- ・ (パナソニックプレスリリース) 業界初、IP カメラを IoT デバイスとして活用するクラウド対応「Vieceura プラットフォーム」を開発 (2017 年 6 月 7 日)
<https://news.panasonic.com/jp/press/data/2017/06/jn170607-1/jn170607-1.html>
- ・ (パナソニックトピックス) Vieceura パートナー企業が 30 社を達成 (2019 年 9 月 11 日)
<https://news.panasonic.com/jp/topics/166890.html>
- ・ (パナソニックプレスリリース) ディープラーニングの画像解析を小型エッジコンピュータで実現する Vieceura カメラの新機種 VRK-C301 を提供開始 (2020 年 4 月 2 日)
<https://news.panasonic.com/jp/press/data/2020/04/jn200402-1/jn200402-1.html>
- ・ (パナソニックプレスリリース) 開発者向け「Vieceura カメラ スターターキット」を発売開始 (2021 年 1 月 18 日)
<https://news.panasonic.com/jp/press/data/2021/01/jn210118-1/jn210118-1.html>